

溶接閉鎖形高強度せん断補強筋

リバーボン785

[本社工場]

- 特徴**
 - 降伏応力度785N/mm²級の熱間圧延線材コイルから加工、製造されるため、安定した品質
 - 鋼棒の表面形状は加工性に優れた異形棒鋼4条リブ
 - 製品形状は溶接閉鎖形、フック付閉鎖形、フック付中子形、スパイラル形に対応
 - 溶接部は安定した品質のアプセット溶接を採用
- 用途**
 - RC造の柱・梁の高強度せん断補強筋
- 製品認定・認証**
 - 国土交通大臣認定：認定番号MSRB-9007
 - (一般)日本建築センター評定：BCJ-C2027,BCJ評定-RC0444-03
 - (一般)日本建築センター評定：BCJ-RC0316-04
 - (一社)建築構造技術支援機構：SABTEC評価24-01(設計施工指針)

仕様

● 機械的性質

種類	試験片	降伏点 N/mm ² (kgf/mm ²)	引張強さ N/mm ² (kgf/mm ²)	伸び(%)	曲げ性能	
					曲げ角度	内法直径
KW785	母材	785以上(80)	930以上(95)	8以上	180°	3d
	溶接部					

● 製品寸法の範囲

加工形状	呼び名	溶接閉鎖形	フック付き形	スパイラル形
角形	K10	250~1500(mm)	350~1500(mm)	350~1320(mm)
	K13			
	K16			
丸形	K10	—	500~1500(mm)	500~1500(mm)
	K13			
	K16			

溶接閉鎖形せん断補強筋

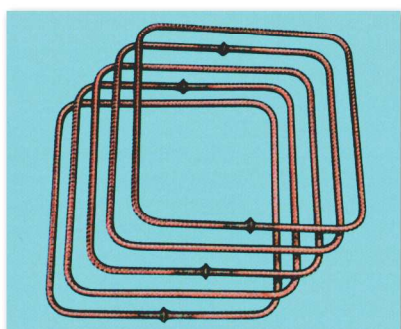
SSフープ

[本社工場]

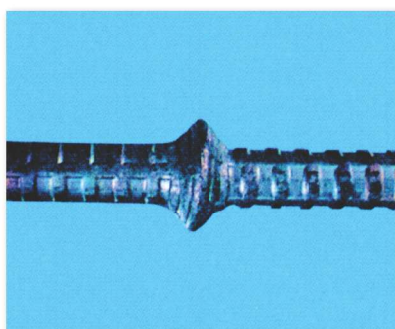
- 特徴**
 - 熱間圧延線材コイルから加工、製造される為、安定した品質
 - 溶接部は安定した品質のアプセット溶接を採用
 - 強度と剛性が母材並みとするA級継手性能を有する製品
- 用途**
 - RC造の柱・梁に使用する溶接閉鎖せん断補強筋
- 製品認定・認証**
 - (一般)日本建築センター評定：BCJ-RC0483-02

SSフープ製品の標準寸法 SSフープの標準寸法を下記に示します。特殊サイズ品については御相談に応じます。

材料の径	四角形(矩形、正方形)(mm)		円形(mm)	
	最大長辺	最小短辺	最大加工直径	最小加工直径
SD295 D10	2,000	250	1,500	450
SD295 D13	2,000	250	1,500	480
SD295 D16	2,000	250	1,500	560



[溶接閉鎖形]



[アプセット溶接]



[溶接閉鎖形を柱に仕様した配筋例]

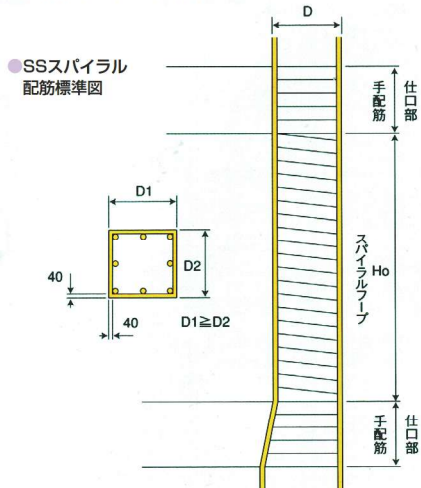
SATO SEISEN

角形・円形SSスパイラルフープ

〔本社工場〕

製作可能寸法	鉄筋径(質量)	D10 (0.56)	D13 (0.995)	D16 (1.56)	鋼種	重量算定法
角形スパイラルフープ	350×350~1320×1320mm 加工辺比率 1:2 以下	○	○	○	SD295 SD345	(外寸+外寸)×2×単位重量にて1段当りの単位重量を求める。(有効数字3桁)×段数 フック付きの場合0.25倍プラスする。
円形スパイラルフープ	φ200~1500mm	○	○	—		外径×π×単位重量にて1段当りの単位重量を求める。(有効数字3桁)×段数 フック付きの場合0.25倍プラスする。

1 使用段数の算定



加工可能段数…… D10の場合/最大20段(但し—製品重量60kgまで)
D13の場合/最大20段(但し—製品重量60kgまで)
D16の場合/最大20段(但し—製品重量60kgまで)

高強度筋のスパイラルフープも製作可能です。

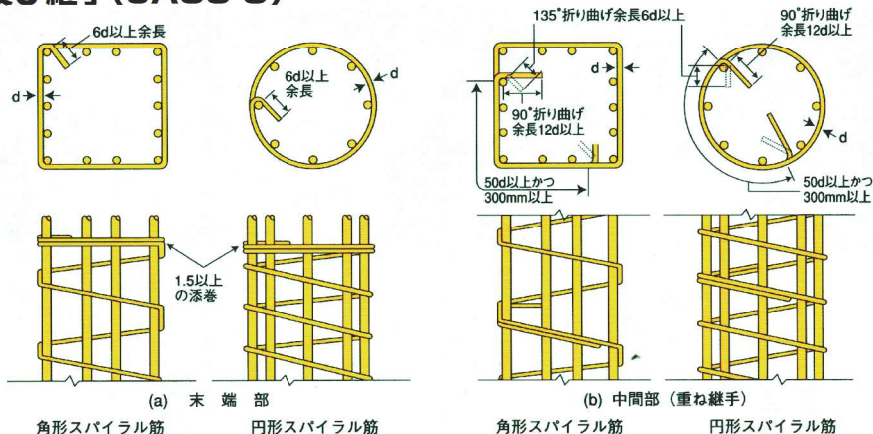
●使用段数計算

中間継手がある場合	中間継手が無い場合	段数 $n = \frac{H_o}{P} + 3$	H _o : 有効階高 = 階高 - 梁成 P: スパイラルピッチ
2分割	2分割	上記で求めた段数に1段加える	
3分割	3分割	上記で求めた段数に2段加える	
4分割	4分割	上記で求めた段数に3段加える	



2 スパイラル筋の末端処理及び継手(JASS 5)

末端	SSスパイラル筋の末端は、柱、梁共、1.5巻き以上の添巻きとし、6d以上の余長を持つ曲角135°(45°)のフックをつける。(または溶接)
継手	重ね継手は、重ね長さ50d以上、かつ300mm以上とし、12d以上の余長を持つ曲角90°のフックをつける。(または溶接)



3 ピッチによるスパイラル筋の圧縮影響について

ピッチ	100mm	200mm
呼称寸法	500×500mm	500×500mm
受注寸法	420×420mm	420×420mm
角度	約3.3度	約6.5度
圧縮影響	420→419.3 (一辺で0.7mm)	420→417.3 (一辺で3.0mm)

注: 上記計算値により、施工上、同一寸法のスパイラルフープのピッチを中間で拡げること、問題ないと思われま。

●SRC・RCの建物に

